

[評価表に戻る](#)

クラスター	重み	指標	ポイント
国際化資質 (具体例)	30	人的性格・環境	・何事にも積極的か、知識欲・好奇心も活力、人に溶け込む
		意欲	・維持、持続も力、「一人でも」の気概、フロンティア精神
		語れる話題	・話題は豊富か、仕事の話・趣味の話・相手国の話題…
		海外人脈	・幾つの組織、機関の外人とコネあるか、「経験」の目安
専門性 (具体例)	30	専門性(学業)	・専門家としての基盤
		原子力専門性(現職)	・専門職としての倫理自覚 ・「この件では第一人者」自覚
		関連科学工学	・炉工学が専攻なら炉化学、放射線など ・原子力屋としては電気、機械など
		関連法規類	・国内法規、規則、政令(炉規法、障防法、同関連法規類) ・労基法、災害防止法も ・国際条約、基準、決めごと(安全条約、廃棄物条約など)、ICRP
指導者能力 (具体例)	10	リーダーシップ	・先が見えて、前広に考える、勤な、人がついてくる魅力 ・進むべき道を示せる、ビジョン、分かりやすい言い方 ・優れたコミュニケーション能力
		マネジメント (チーム行動力)	・プロマネ(ヒト、カネ、工程管理)、チームをどう管理するか ・知ったかぶり、風呂敷表現、逆に隠れた鷹の爪を見抜く力 ・チーム力のまとめ、向上
英語コミュニケーション 力(具体例)	30	基礎英語力 (聴く書く読む話す) 資格	・言葉が分かる、相手の言いたい行間が聞き取れる ・伝えたいことを誤解なくクリアに書ける、英借文の心がけ ・文の行間、背景も読み取る、個々の語より大意を読む ・「結論」を最初に書き、話す。
		情報発信力	・プレゼンは言いたいことより、分かって欲しいことを ・資料pptは文字より図表中心に、目線が大事、手振りも有効 ・1:1会話は楽、会議やグループ討議でのタイムリーな発言 ・議事進行役も実務上必須
		経験	・客観性ある指標、参加研修レベル

備考

「定量化」が困難な場合は、「基本的な要件」から「望ましい条件」で並べてみた。

OJTで身につくが、早い方が良い